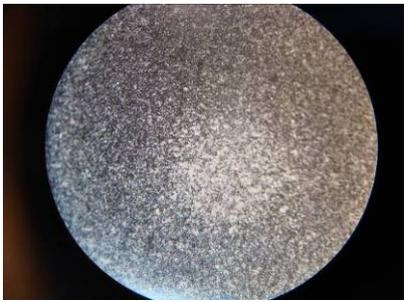
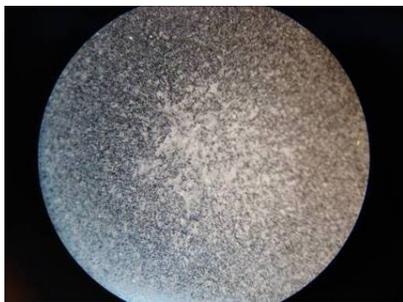
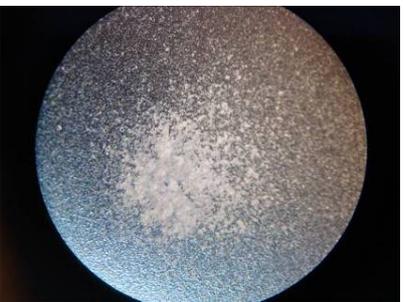
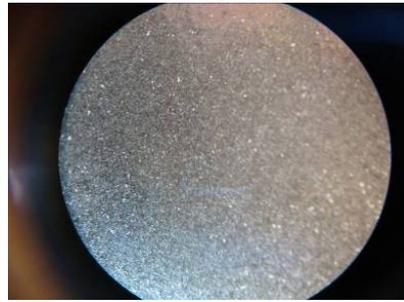
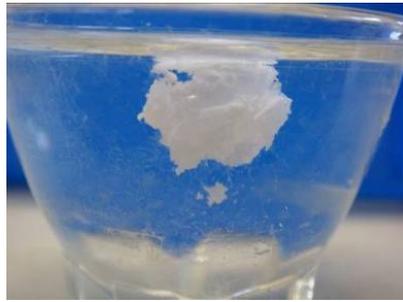


# イブプロフェン+パーフィラー101 低打圧打錠試験

<b>目的</b>	EIP 杵による滑沢剤を含有しない錠剤の製作を検討する。
<b>使用薬剤</b>	イブプロフェン 50%、パーフィラー101 50%、 パーフィラー101 内訳 ヒドロキシプロピルスターチ 約60% 合成ケイ酸アルミニウム 約20% 結晶セルロース 約20%
<b>使用杵</b>	鏡面+HCr・鏡面+CrN・MH3+CrN・EIP 以上4種類の上下の杵
<b>錠剤硬度</b>	20rpm : 2.0N    30rpm : 1.5N
<b>打圧</b>	本圧上ロール : 230kgf    本圧下ロール : 200kgf
<b>試験方法</b>	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して低打圧にて打錠する。 ②杵に付着が発生し、錠剤表面に剥離が発生した時点まで打錠する。 ③打錠後、杵打錠面を顕微鏡にて観察する。なお、今回は上杵には付着が少なく、下杵が顕著だったので下杵のみ写真を撮影した。 ④錠剤の崩壊時間を測定した。

## 杵、打錠試験後の写真

		
鏡面+HCr 下杵 10rpm で 2分打錠	鏡面+CrN 下杵 20rpm で 2分打錠	MH3+CrN 下杵 20rpm で 2分打錠
		
EIP 下杵 20rpm で 40分+30rpm で 40分打錠	6秒で崩壊	

## 結 果

- ◆ 鏡面+CrN  
10rpmにて打錠し、2分程度で付着が発生した。
- ◆ 鏡面+HCr  
20rpmにて打錠し、2分程度で付着が発生。
- ◆ MH3+CrN  
20rpmにて打錠し、2分程度で中心部に付着が発生。
- ◆ EIP  
20rpmにて40分間打錠後、30回転にて40分間打錠を連続打錠し付着が発生しなかった。

以上の結果から、EIP 杵でステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+パーフィラー101の粉体を低打圧で打錠できることが判明した。